

都市伝説の国の BPA



Steven Hentges, Ph.D

2021年2月10日(水)

Posted in SAFETY

最近、インターネットの記事を読んだことがある人ならば、かなりの数の BPA に関する健康関連の都市伝説に出くわしたことがあるでしょう。その中でも特によく知られているのが、BPA はガンの原因になるというものです。例えば、プラスチック製水ボトルで飲み物を飲むと体に害があるというものです。もしこれが本当だとしたら、かなり重要なことでしょう。

BPA に関する都市伝説を見つけるのは簡単ですが、神話を暴くことを目的としたメディアの記事を見つけることは余り一般的ではありません。Express の [最近の記事](#) はまさにそれを行っていて、ガンの発生に寄与するものと寄与しないものを取り上げています。

BPA とガンについて、この記事では、ガンの治療を専門とする組織である [Cancer Research UK](#) の情報に焦点を当てています。英国を拠点とするこの非営利団体は、世界最大の独立したガン研究の資金提供者であり、現在、世界 39 か国の研究に資金を提供しています。

Cancer Research UK が BPA とプラスチック製水ボトルについて何を言おうとしているかが重要です。この組織の「[プラスチックボトルやプラスチック製容器を使うとガンになりますか?](#)」という [質問に対する回答](#) は、一般的な都市伝説に対する直接的な回答になっています。

いいえ。プラスチックを使用する事で人々がガンになると言う十分な証拠はありません。ですから、プラスチックボトルの飲み物を飲んだり、プラスチック容器や食品袋を使ったりしても、ガンになるリスクが高まることはありません。ビスフェノール A (BPA) のようなプラスチックに含まれる化学物質が、食

食べ物や飲み物に混入してガンになると考える人もいます。いくつかの研究では、プラスチック中の特定の化学物質が、食べ物や飲み物に残留することを発見したけれども、その残留レベルは低く、ヒト健康に安全と考えられる範囲内です。

これで事情はお分かりいただけたことと思いますが、そのような見方をしているのは Cancer Research UK だけではありません。世界中の政府機関が BPA に関する科学をレビューし、本質的に同じ結論に達しています

たとえば、ヨーロッパ、日本、米国で実施した評価はすべて、BPA が発ガン性である可能性は低いと結論付けています。ごく最近、米国食品医薬品局 (FDA) の科学者等が、BPA の CLARITY コア研究を完了しました。この研究には、実験動物への BPA の生涯曝露研究が含まれており、BPA に関してこれまでに実施された最大規模の研究です。

この研究では、BPA が発ガン性である可能性があるとの証拠はほとんど見つからず、世界中の政府が以前に到達した結論を支持しています。より一般的には、FDA はそのウェブサイト上の Q&A で BPA の安全性について述べています。「BPA は安全ですか?」という質問に対する明快な答えは「はい。」です。

では、何がガンの原因となるのでしょうか? Cancer Research UK は、喫煙、不健康な食事、過度の飲酒、肥満、紫外線への曝露がガンのリスクを高めることが証明されていると報告しています。それは刺激的な都市伝説ではないかもしれませんが、それらの要因はあなたがあなたの健康を守るために取り組むことができそして取り組むべきものです。